



第 39 号

2018 年 6 月 1 日

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

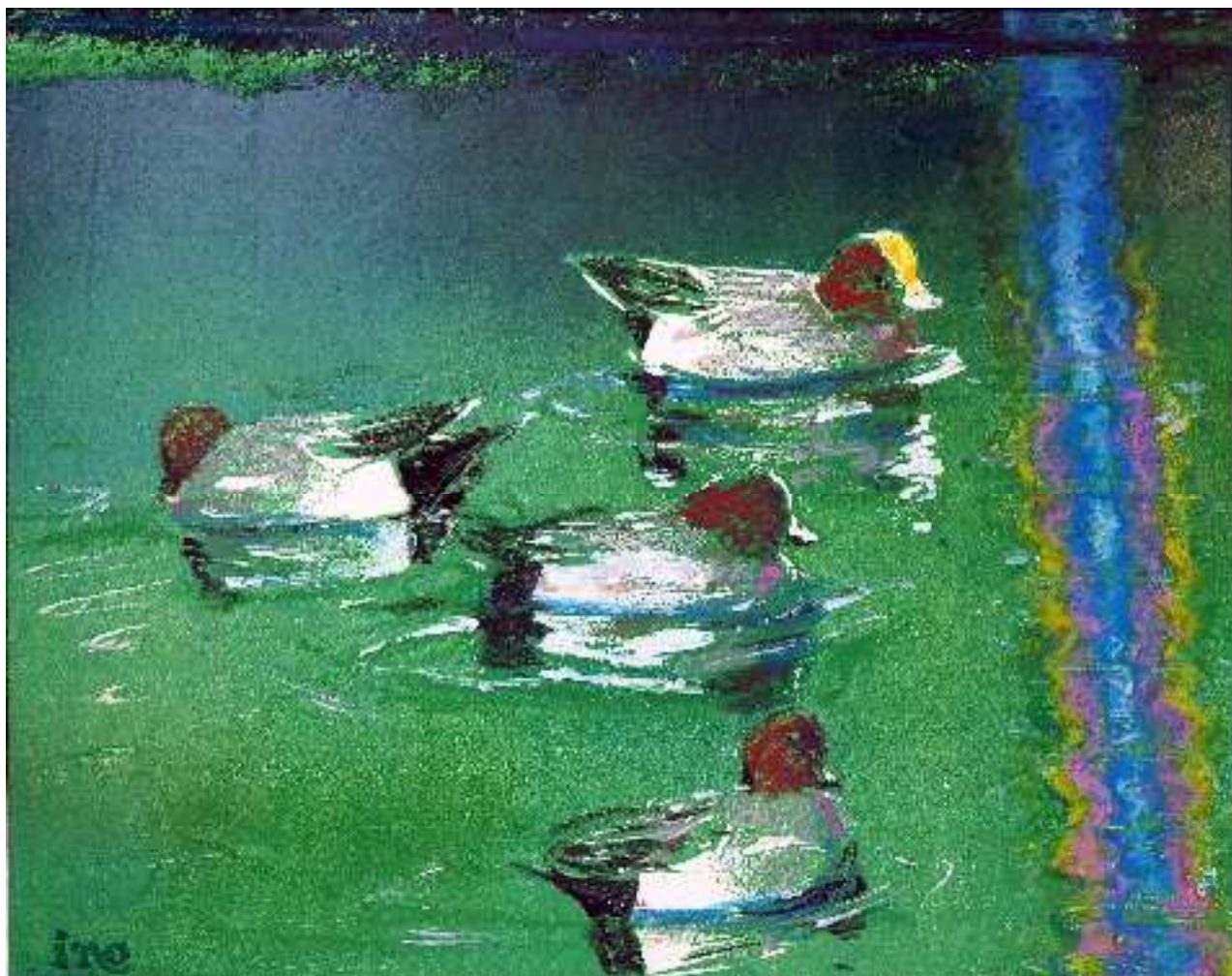
あんず居宅介護事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



絵・井上 忠司 いづつす ににし 愛知県生れ。文化学院デザイン科卒業後、グラフィックデザインの世界へ。食品関係・洗剤関係の仕事を経てパッケージのアートディレクター（AD）になる。リタイア後に趣味で始めたバードウォッチングの魅力に夢中になり、10年間鳥の絵を描いてきました。さんしょうのご利用者です。

第 15 回地域交流カフェ

日時：6月18日(火)、12時から、場所：さんしょうリビング

●食事会●癒しタイム：山梨県北杜市だんだん会（宮崎和加子理事長）からのハーブを楽しみます

在宅での看取りについて、語り合いましょう

～亡くなられた方々を偲んで～

幸樹会各事業所・職員からの報告、ご家族からのお話

参加自由、ぜひご参加ください！

東風隆（こちたかし）さんにお聞きしました

4月からケアステーションゆずは、要支援等の方々を対象にした松戸市介護予防・日常生活支援サービス事業をはじめました。このサービス利用者第1号が東風隆さんです。東風さんは昭和46年から元山でお茶屋さんを営んでいらっしゃる。もともと松戸市南部市場で瀬戸物の小売・卸をされた後にお茶を扱うようになったそうです。……（聞き手・浅尾いずみ）

お茶を飲む“間”が 心の余裕を生む

初めてこのサービスを利用されていかがですか？

東風 腰痛で大変な思いをしていたら、知り合いが「掃除、買物、洗濯物、調理等を支援してくれる制度がある」と教えてくれてね。最初は半信半疑だったけど、自分が出来ないことをやってもらうのは本当に助かった。なるべく自分でやろうとしているけれど、自分でできないことをやってもらえるから、私はすごくよかったと思っています。1時間がとても貴重で充実しているよ。お世辞じゃなくて助かっている。

そういえば、東風さんには手伝ってくれるお客さんがいっぱいいて、シャッターが閉まってもお客さんが入ってきますね。



東風さんのお店

東風 お客さんが私の状況をわかっているからね。お店をやっているから心配して助けてくれてね。食べ物など、ずいぶん差し入れていただきましたよ。お返しのないよ。

東風さんが元気でお店続けることが一番のお返しですね？

東風 そう言われているの。店を開けてやっていることがね。

ちょうど新茶の季節になりましたね。

東風 やっぱり旬のものを飲むと、一年間無病息災だよ。毎年予約されるお客さんのために、5月の連休には静岡に買い付けに行ってきたよ。人に任せて買うより現地で品物を見て自分の舌を信じて買うのが一番だね。いつもは自分で運転して行っていたけれど、今回は腰痛のため友人に運転してもらった。



東風 隆さん

東風さんにとって、お茶の効用は？

東風 「お茶を飲むひと時をもつことで、物事にとりくむ心に余裕が生まれる。プラスになる」という考えだね。だから職人の家では、必ず朝はお茶を飲ませて送り出したわけよ。お茶を飲むその気持ちが大切。その“ひと時”が、せわしない世の中で、急がない“間”を生み出すんだね。そうすることで何事も安全でいられることもつながった。

今は、もっと忙しい社会だけれど、お茶屋として、皆さんが心に余裕を持つ手伝いをしたい、と思っています。

お隣で発送のお手伝いをされていたお客さんは、古くからのお得意さんで、東風さんの店で買ったお茶が美味しくて、「もうスーパーでは買えない」と、どうしても手伝いたくなっちゃうそうです。

私たちも、東風さんが今の生活を続けていけるように、心を込めてお手伝いをさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今月の屋上太陽光発電量は、

1562KW



幸樹会館電力使用量 4251KW

自給率 36.7%

職員募集！ 非営利・働きがいある職場
看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり。
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550

患者さんに、薬剤師の新たな役割を教えてください…

からたち薬局管理薬剤師 櫻井美恵

私が薬剤師人生で初めて受け持った在宅患者のAさん。ご自宅に伺ってAさんの顔を見た瞬間、涙が出そうになった私…。実は、Aさんは10年近く前、ご自分でカートを押して、当時私が勤めていた薬局に薬を受け取りに来ていたのです。薬局の外でもお会いすることも多く、私のプライベートなことを含めたくさんのお話をした方でした。勝手に“松戸のお母さん”と思っていました。その後、その薬局はなくなってしまい、Aさんは元気であるのかと事あるごとに思い出していました。訪問時、Aさんも私のことを覚えてくださり、行くと共に喜んでくださいました。

Aさんは呼吸器を患っており、吸入器を使用しています。発作用の薬のほうにすぐに薬になるのでAさんはその薬を愛用していました。ですが、実際は予防用の薬をしっかり使っていけば発作自体も減少します。予防用の薬の重要性を説明しましたら、Aさんは予防用の薬もしっかり使用してくれるようになり、状態も以前より落ち着いてきました。



Aさんのお宅

Aさんが入院を嫌がっているときに、「おかあちゃん、このままじゃ私に不安だから入院して」とお願いして入院してもらったこともありました。

今回、Aさんのことを書いてもいい？とお聞きした時、Aさんから「私は、先生とあなたのおかげで元気なんだよ、ほんとだよ」とうれしい言葉を頂きました。私にとって、Aさんは在宅訪問という新しい薬剤師の役割を教えてくださいいただいた大切な存在です。「もう90歳だよ」といつも言っているAさん。まだまだおかあちゃんには元気でいてもらいますからね。

“訪問薬剤管理指導”とは、言葉の通り薬剤師がご自宅に訪問して、お薬の管理の支援を行っていくことですが、「必要あるのかしら」と思われる方もいらっしゃると思います。薬剤師がご自宅に伺い、患者の皆さま方の生活環境やスタイルが分かることで、薬や薬の飲み方の提案もできます。患者の皆さま方も、人目を気にせず、気軽に相談出来る、そんなメリットもあります。気になる方がいましたら、気軽にからたち薬局までご相談下さい。

新入職員の紹介です

♥大橋麻子（看護師・常勤）

はじめまして。5月からあんず訪問看護ステーションに入職しました。念願の訪問看護にかかわる事が出来、とても嬉しく思っています。未経験なので迷惑を掛ける事がたくさんあるかと思いますが、頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。通勤に10年ぶりにスクーターを購入しました、事故なく過ごしていきたいと思っています。猫が大好きです。



♥大井川新（看護師・非常勤）



この度、5月末から働かせていただくことになりました。よろしくお願い致します。昨年までは松戸市立病院で働いていましたが、子どもの小学校入学を期に一年間家庭で主婦をしていました。この一年間は息子の中間反抗期とたたかいながら、一

歳六ヶ月の甲斐犬のしつけに格闘する日々でした。犬好きな方がいましたらぜひ声をかけて下さい。訪問看護は全くはじめての分野で緊張しています。勉強しながら頑張りますのでよろしくお願い致します。

◆保坂信人（看護師・非常勤）

看護学生時代で訪問看護の実習をしてから在宅に興味を持っていました。特に利用者様のお宅で、本人や家族とのコミュニケーションをとりながら援助をして、在宅ならではの看護をする奥深さに惹かれていました。触れあいながら信頼関係を築きあげて安心できる看護ができるよう精進していきます。まだまだ経験不足な面がありますが、スタッフの皆様と連携をとってよりよい在宅サービスが行えるようにしていきたいと思っていますので宜しくお願いします。



八柱学習会（定期勉強会）

●前回報告 5月18日（金）。助言者 武井幸穂氏

テーマ：「認知症ケア」について

報告・あんず訪問看護ステーション看護師 高橋千夏子

☞12人参加。高橋さんの利用者の可能性を発見した視点、可能性の実現にむけての分析に評価が高かった。

▼次回学習会予定（定例日：毎月第3金曜日）

☞6月15日（金）、18:30～、

テーマ：「認知症」について

実践者研修報告・さんしょう介護職 滝沢奈々

場所：幸樹会館2階会議室《参加自由》



デンマーク便り

ラスムッセン 京子

6月には、高校生が卒業試験を終え、大学生・専門学生になります。両親や兄弟は、最後の学科の試験室の前に赤いバラを手に待ち、試験室から口頭試問を終えて出てくる我が子を喝采し、花を与えます。高校卒業は人生の一番華やかなお祭りのようです。卒業式では卒業証書がわたされ学生帽を授与されます。そして学生たちはこの晴れの日飾り付けられた乗り物でクラスの学友の家を一軒一軒廻り、家族が用意した祝賀会を楽しみます（写真）。



これから学生たちがより社会と関わりながら人生を切り開いていくことになります。Sabbatår といって、すぐ大学や専門学校に行かず、一年か二年仕事をして資金を預金し海外でバックパッカーをして長期旅行に出たり、海外を見ることでデンマーク社会を見直すという人もいます。貯金をした後、ホイスコーレンという全寮制の学校に行く人もいます。人文社会、芸術や体育の勉強や経験を、自分自身のこれからの人生にどう生かしていくのか、デンマーク社会の一員として如何に自分を生かしていこうかと模索する時間を取ります。どちらもアイデンティティーを築く目的があるようです。

6月末にはサンクト・ハンスと呼ばれる夏至祭が行われます。イギリス、アイルランド、フランス、ドイツそして北欧バルト諸国では夏の重要なお祭りです。中世には魔女と疑われた独り暮らしの女性が火あぶりにされたりしたようです。その名残として今も薪を燃やします。薪の上には魔女を模倣した藁人形があったりします。冬の間に住み着いた悪霊を燃してしまいます。一年で一番長い日、白夜はフォークソングの演奏を聴き、自然の美しさを称え、夏至祭を称える賛美歌を合唱して更けていきます。

そして、長い夏休み入ります。子供のいる家族は早くから計画したその年の夏のバカンスに出かけたり、サッカーなどのスポーツ合宿に参加したり、別荘でのんびり過ごすことになります。

日本在宅医学会第20回記念大会に参加して

学び、感動、涙…

代表理事 中野三代子

4月29、30日に行われた「日本在宅医学会」に幸樹会から、大塚かすみ・櫻井美恵・岡本健吾・浅尾いずみ・中野三代子の5名で参加してきました。今回の大会長は、いつもご指導していただき、患者さんを通して交流の深いあおぞら診療所の川越正平先生。また、三和病院の高林克日己先生が「看護小規模多機能のすすめ」シンポジウムの座長をなさるということで、みんなで参加しようと申込をしました。スケジュール表を見ると、どの演題も興味深く、聞きたい発表ばかり。朝8時～閉会まで会場にいてランチョンセミナーも聞き、合間にポスターセッションを見て…、それでも12会場ある全部の発表を聞くことはできないので、それぞれ自分たちの仕事に活かせる内容を聞こう、高林先生座長の「看護小規模多機能のすすめ」はみんなで参加しよう、と打ち合わせていました。



私は、幸樹会で取り組んでいる「認知症になっても安心して暮らせる地域」「看取り」「小児在宅医療」「看護小規模多機能」などをキーワードに予めチェックをして臨みました。発表されたそれぞれの実践は素晴らしく、今後の幸樹会の活動の参考にさせていただきたいと思いました。市民公開講座では若年性認知症の当事者の丹野智文さんのお話を聞き、当事者の皆さんの感じていること、意見を聞き「私は認知症ですが同じ認知症の仲間を支えていきたいと思っています。」という言葉に胸が熱くなりました。「小児在宅医療を支える医療技術～小児在宅緩和医療～」では、脳腫瘍のお子さんを在宅でたくさんの友達と共に看取られた親御さんの発表に思わず涙してしまいました。看護小規模多機能のすすめでは、「そう、そう！」と共感したり「うちでも取り入れてみよう」と思ったり。松戸市や医師会の先生方がとりくんでいる「こどもたちの力で地域はもっとつながり合える～出前講座まちっこプロジェクト～」や川越先生の「病院・行政・市民とともに取り組むまちづくり～地域をひとつのバーチャル病院ととらえる」では、地域包括ケアのモデルとなる松戸市での活動に幸樹会も一緒に参加していることに、責任と喜びを感じました。久しぶりにお会いする皆さんとも会うことができ、いのちと生活を支える医療介護多職種チームの使命を再認識しました。学会は活気に満ち、たくさんの学びがありました。